

平成29年度 事業報告

社会福祉法人 むつみ福社会

新入ひまわりこども園

法人本部区分

(1) 評議員会開催実績

開催日	決 済 事 項
平成29. 6. 15	<ul style="list-style-type: none">・ 理事及び監事の選任について・ 平成28年度事業報告及び計算書類・財産目録の承認について・ 理事・監事並びに評議員の報酬規程について・ 社会福祉充実計画の承認について

(2) 理事会開催実績

開催日	決 済 事 項
平成29. 5. 31	<ul style="list-style-type: none">・ 経理規程に変更について・ 評議員会の招集について・ 平成28年度監査報告、事業報告及び決算報告について (評議員会提案の承認)・ 理事・監事並びに評議員の報酬規程について (評議員会提案の承認)・ 社会福祉有事津計画について (評議員会提案の承認)
平成29. 6. 15	<ul style="list-style-type: none">・ 夏季賞与に係る職員の処遇改善について・ 理事長及び業務執行理事の選任について・ 評議員選任・解任委員の選任について
平成29. 11. 27	<ul style="list-style-type: none">・ 社会福祉法人むつみ福社会経理規程の改正について・ 社会福祉法人むつみ福社会 理事長専決に関する規程の改正について
平成30. 1. 4	<ul style="list-style-type: none">・ 平成29年度補正予算について・ 処遇改善に係る冬季賞与の支給方法について・ 別紙1の売買契約書承認の件・ 別紙2の売買契約書承認の件
平成30. 3. 28	<ul style="list-style-type: none">・ 社会福祉法人むつみ福社会就業規則の改定について・ 平成29年度第2次補正予算について・ 平成30年度事業計画及び当初予算について・ 平成30年度における職員の雇用の特例について・ 平成30年度の処遇改善等加算Ⅱの方向性について

(2) 監事監査実績(平成29年度事業に係る)

平成30. 5. 15	<ul style="list-style-type: none">・ 理事の業務執行状況 適切に執行されており、特に指摘すべき事項はありません。・ 法人の財産状況 適切に処理されており、特に指摘すべき事項はありません。
-------------	---

2	30(3)	29(1)	29(1)	27(1)	26	26	26	26	26	26	26	26	323(6)
3	27(2)	27(1)	27(1)	27(1)	27(1)	27(1)	26(1)	26	26	27	27	27	321(8)
4	32	32	31	31	31	30	30	30	30	30	30	30	367
5	30	30	29	29	29	29	28	28	28	28	28	28	344
計	154	153	152	151	151	151	149	150	150	151	151	151	1814(17)

() 内は短時間児童数

(3) 補助金等

29年度 補助金

延長保育事業 300,000円

(1時間延長人数月平均2.7人)

寄付金

保護者の会 24,967円

内訳

卒業記念(園旗) 24,967円

(4) 施設及び設備の整備実績

(備品等)

・園銘板取替(工事含む) 714,960円

・アルミワンタッチ日除けメッシュテント 108,000円

・小物ロッカー 465,480円

・テント 221,400円

(構築物)

・園庭時計 570,240円

(設備整備)

・2階廊下門扉工事 216,000円

・門扉戸車交換修理 129,600円

・ガスブレージングパン修理 103,809円

・2階防水塗装工事 464,400円

(5) 職員会議及び職員研修等の実績

・職員会議 月1回実施

・園内研修 月1回実施

・県外(宿泊)研修実績

就業規則改定打合せ計4回(東京都; 8/21~22, 10/20, 12/18~19, 1/16~17)

園長、副園長、早田

第4回九州保育三団体研究大会(長崎市; 7/19~21)・・・西尾由

幼児音体指導者宿泊研修会(熊本市; 7/29~31)・・・武内

(熊本市; 12/25~27)・・・田中

第4回全国保育士研修会（横浜市；11/17～18）・・松尾

（6）苦情等解決機関の設置と実績

意見・要望等受付担当者	副園長	西尾 祐子
意見・要望等の相談解決責任者	園長	日野 智
第三者委員		丸本 直彦
第三者委員		松尾 正照

・平成29年度の実績

第三者委員に対する意見・要望等はなかった。

・アンケート調査等について

平成28年度の夏から秋にかけて落ち着かなかった4歳児も年を明ける頃から落ち着き出し、年長になると園のリーダーとしての力を発揮し、園全体を引っ張っていった。

ただ、保護者と職員間には落ち着かなかった時のことを引きずっていたところもあり、平成29年度も10月から主に年長クラス担任に対して、保護者から苦情が匿名の手紙で4件あった。

これに対しては、年長クラス全員の保護者が集まる機会（2月）をとらえて、園長から保護者に対する説明会を開き、保護者の理解を求めた。

その結果、卒園式から4月に入って保護者が開いてくれた謝恩会に向けて、批判の陰は薄らいだが、課題がすべて解決したわけではなく、当園の教育・保育のあり方、園児や保護者に対する接し方等を利用者のサービス向上の観点からこれからも職員と共に考えていかねばならない。

その中で、園に対する全般的なアンケート（行事アンケートの度に尋ねてはいるが）を職員に及ぼすマイナスの影響を考え中止せざるを得なかったのは残念であった。

平成29年度新入ひまわりこども園教育・保育事業報告

■ 教育・保育理念

社会福祉法人むつみ福祉会の運営する新入ひまわりこども園は義務教育及びその後の教育の基礎を培うと共に、児童福祉法に基づき「保育に欠ける」乳幼児の心身の発達を助長し、養護と教育が一体となって豊かな人間性を健やかに育成する。

教育・保育にあたっては、子どもの人権や主体性を尊重し児童の最善の利益のために、家庭や地域社会と連携を図り、職員一丸となって家庭援助を行うと共に児童の福祉を積極的に増進するように努め、子育て支援に貢献する。

■ 教育・保育目標

“心もからだものびのびと”

- 元気な心と体を持つ子
 - 自分も友だちも大切にできる子ども
 - 好きな遊びをして自信の持てる子ども
 - 最後までやりとげる子ども
- 子どもの最善の利益を考慮し
保護者と共に子育てのよろこびを共感しあい
一人一人を大切にした教育・保育をしています。

■ 一年の反省

- 1 平成29年度の事故（怪我）の件数は17件であり、平成28年度より増えたが、大きな事故はなく比較的平穏だったと言える。ただ、大きな事故にはなっていないが、顔（特に口）の怪我が多く、予防、対策をしっかりする必要がある。
感染症については、インフルエンザの流行が例年になく大きかったことや流行の季節の予測が気候の変化からかできにくくなっており、流行の情報や常日頃の予防が非常に重要となっている。
- 2 教育・保育については、園の目指す教育・保育と職員の技量のギャップから特に総合幼児教育研究会の教育・保育の形を見直さざるを得なくなった。振り出しに戻るのには残念ながら、園の目指す教育・保育を職員と共有し、もう一度原点から園の教育・保育のあり方を職員と共に考えていきたい。
なお、言葉や運動において気になる子供も増えてきており、保健師を始め専門家の助言、援助を受けながら個々の子どもの成長を促すよう心がけたい。
- 3 食育については、献立が豊富となり、栄養の面からも、また、子どもたちが食事を楽しむという面からも充実してきている。さらに、子どもたちの肥満度の管理等も少しずつ実を結んでおり、これを発展させていければと考える。
- 4 幼保連携型認定こども園としての1年目であったが、職員も書類の変更等戸惑いがある中で、無難にこなし、子どもたちと共にこども園としての新しい出発を大きな事故もなく乗り切ることができた。認定こども園として園運営にその効果が表れるのはこれからのので、それを保護者、職員ともども確かめていければと思う。
- 5 社会福祉充実計画のもと、園で使用している土地はすべて法人の所有となった。このことにより、法人としての機能が最大限に活かせると思うので、法人運営の安定と共に社会福祉法人としての責務が十分果たせるよう将来構想を持ちたい。

むつみ福祉会における現状と課題

平成29年度から幼保連携型認定こども園として、再出発することは大きな成果であり、今後さらに顕在化してくる少子化による児童数の減少や保育教諭（保育士）不足の中でも、運営面において優位に立つことができるのではないかと考える。

ただし、その優位性は、今まで同様に教育・保育の質の向上を目指す意欲と職員の職場環境の改善無くしては実現できない。

また、法人の役員組織及び新入ひまわりこども園の職員組織の強化が並行的に実現できればさらに確固としたものになると思う。

1 事業方針について

① 入所児童数について

平成29年度から幼保連携型認定こども園に移行したこともあり、0歳児、1歳児の入所人数を見直し、原則0歳児16名まで、1歳児24名までとした。それによって、子どもたちにとって職員との関わりや広さの点でとても良い環境になったと考える。

なお、入所児童数が減ったことで収入が減った分はあったが、1号認定子どもも徐々に増加し、最終的には認定こども園1年目としては十分の状況だったと考える。

ただ、今後0歳、1歳の入所が少なくなると経営的に安定が損なわれるので、そこに気を配った経営が必要となる。

② 特別保育事業

乳児保育

事業目的：乳児を受け入れ保護者が安心して働き続けるためと子どもの発達保障を目的とする

延長保育 通常保育時間（11時間）を超えて実施する保育事業

短時間保育（8時半から16時半）を超えて実施する保育事業

事業目的：保護者の就労時間形態の変化に伴い、主に保育時間を19時まで延長し対応する

2 研修会について

年度当初は例年どおり、総幼研の実技研修と音体の宿泊研修を中心に受講してきたが、10月に総幼研の教育・保育に関する見直しをしてほしいとの職員からの要求を受け、研修のあり方も見直すこととなった。

また、平成29年度から創設された処遇改善等加算Ⅱは、将来的には指定された研修を受けていることが条件となるため、その研修の動向を伺っていたが、県の指定及び委託は次年度からとなり平成29年度は見送られた（平成30年度からは始まる予定であり、研修計画は大部分これに関する研修を取り入れることとなる）。

さらに、県保育協会や全国研修にも積極的に参加する方向で取り組んだが、実施は第4回九州保育三団体研究大会、第44回全国保育士研修会等にとどまった。

なお、直方市保育協会が実施する研修には保育教諭をはじめとする多くの職員が参加し自己研鑽の良い機会としている。

3 安全管理について

地震・防火避難訓練：毎月1回、地震・防火避難訓練を実施し、12月に消防署員来園による総合訓練を行った（今年は北朝鮮情勢に鑑みJアラートの訓練も行った）。

また、保健計画や防災計画を作成し、これに沿った安全管理、防災に心がけている（水防法及び土砂災害防止法に基づき、洪水等の避難確保計画については大きく見直した）。

※消防女性部の方から年1回、園児に対して防火の話と和太鼓を披露していただき
おり、園児たちも関心をもって聞いている。

4 健康管理について

園児は定期的に内科検診、歯科検診を行い(年2回)、また、尿検査も年2回行った。

職員は年1回の健康診断を行うとともに給食、ひよこ組等必要な職員は毎月検便を
実施している。

また、感染症対策等健康管理には細心の注意を払っているが、平成29年度はイン
フルエンザが変則的に1月にB型、3月にA型と大流行し、対応に追われた。

近年、気候の変化が激しく、また、一日の気温差が大きいことで多くの子どもたち
が体調を崩しやすい原因となっている。それ故、子どもたちと日々のリズムをしっか
りつくり、また、感染症予防に心がけることにより、子どもたちの健康を守ってい
きたい。

5 交通安全等について

警察署(下新入交番)や新入小学校の協力を得ながら安全教育を行ったり不審者の
侵入対策に備えたりしてきた。

なお、交通安全を中心に下新入駐在所の岩崎氏にぞう組、くま組に対して講話をし
ていただいた。

6 地域交流について

田植え等において新入地区との交流を実施すると共に、平成29年度は子育て支援
「くれよんクラブ」の拡充により、地域から子どもたちやその保護者の参加が多くあ
った。特に、外部から招いた熊丸先生の子育て教室や三原先生の体育教室は評判も良
く、平成30年度も「くれよんクラブ」の中に取り入れていく方向である。

なお、この子育て支援が、1号認定子どもとして3歳児の入園に結びついたのも大
きな成果であった。

7 施設整備について

直方市において保育園等の整備計画がなく、近い将来計画されても当園の改築まで
は少なくとも5年程度以上はかかると思われる。そのため、平成29年度も給食室の
上の防水工事をし、現園舎の保守に努めた。

中期事業計画の進行状況

平成29年度から幼保連携型認定こども園へ移行したことは大きな成果であった。

また、保育制度改革や社会福祉法改正に対してもどうにか対応しているとする。

しかし、一法人一施設の弱点である役員及び職員の組織としての機能が十分でなく、そ
のことが教育・保育の質の向上、利用者に対するサービスの向上について、成果がもう一つ
表れない結果になっている。

今後は職員とさらにこのことについて認識を共有し、再度原点に戻って子どもたちの成

長を支援するための最善の取り組みを模索していかねばならない。

平成30年度は28年度からの中期計画の最終年であり、31年度からの中期計画へつなぐための基礎作りの年としたい。

なお、法人の組織強化、効率化等のため他法人との連携、合併を真剣に検討する時期にあるのは間違いない。

29年度 事業報告

月	こども園行事	月	保護者会行事
4月 1日 13日 24日 26日 28日	進級・入園式 チューリップフェア 歯科検診 苺狩り（くま組） 内科検診、苺狩り（ぞう組）		
6月 10日	保育参観・給食試食会 田植え・・・中止	6月	参加協力（田植え）・・・中止
7月 5日 7～8日 10日 24日	七夕飾り付け お泊まり保育 プール開き 観劇会（ぞう組）		
9月 2日 8日	夏祭り プール閉め	9月 2日	夏祭り
10月 7日 10日 16日 27日 28日 31日	運動会 稲刈り 歯科検診 芋掘り招待（ぞう組） 保育参観 内科検診	10月 7日 10日 28日	運動会準備 参加協力（稲刈り） 保育参観
11月 1日 3日 15日 17日 18日 25日	芋掘り 熟年の集い 七五三 チューリップ植え 教育フォーラム参加（ぞう組） 作品展・懇談会	11月 1日 25日	参加協力（芋掘り） 参加協力・準備（熟年の集い） 懇談会
12月 6日 9日 11日 22日	フルーツ演奏会 餅つき 総合避難訓練 クリスマス会	12月 9日	参加協力（餅つき）
1月 31日	節分（豆まき）		
2月 3日 19日	生活発表会 卒園・進級写真撮影		
3月 3日 14日 18日	ひな祭り茶会 ひな祭り会・お別れ会 吹奏楽祭		

25日	卒園式	3月25日	卒園式風船作り
-----	-----	-------	---------